やんま

小川未明

青空文庫

正ちゃんは、やんまを捕りました。そして、やんまの羽についた、もちを取っていると、ぶるっとやんまは、羽を鳴らして、手から逃げてしまいました。

「あっ。」と、いって、その逃げた方を見送ると、よく飛べないとみえて、歩いてゆくおばあさんの背中にとまったのです。

正ちゃんは、胸がどきどきしました。どうしたら、うまく捕らえることができるだろうと思ったからです。

正ちゃんは、気づかれないように、おばあさんの後を追いかけました。いくらおばあさんでも、動いていると、知られぬように、うまく捕らえられるものでありません。正ちゃんは、ため息をつきました。しかし、勇気を出して、おばあさんのうしろへいって、手を伸ばしました。

下を向いて、おばあさんは、なにか考えながら歩いていると、だれか、たもとにさわったような気がしたので、うしろを振り向くと、どこかのかわいらしい子が、後からついてきたのです。

「へへへへ、人違いでございますよ。」と、おばあさんは、笑って、そのままゆきかけたのでした。

「だめだなあ、あんなところに、うまくとまっているんだもの。」と、正ちゃんはうらめしそうに、やんまを見つめていましたが、もう一度捕らえられるものか、やってみようと、また足音をたてぬようにして、おばあさんの後を追ったのであります。

おばあさんは、また、だれかたもとのあたりにさわったので、はっとして振り向いてみると、先刻の子供が、しつこく自分の後を追ってきたのでした。

これは、人違いでないと思いました。そして、顔に似合わぬ、なんという、いやな子だろうと思いましたから、おばあさんは、怖ろしい目つきをして、にらんだのでした。子供は、おばあさんにしかられると、そのままあちらへ駈け出していってしまったのであります。

おばあさんは、お家へ帰りました。家の人たちが、

「おばあさん、お帰んなさい。」と、いって、出迎えました。それから、「お疲れでしょう。」と、いって、羽織をぬがしてあげにかかると、やんまが、背中にとまっていましたので、

「まあ、おばあさん、こんな大きなやんまが、お背中にとまっていましたよ」と、いって、捕らえてみせました。このとき、おばあさんは、

「やんまが？」と、いって、はじめて、さっき、男の子が、自分の後を追ってきたわけがわかったのでした。

「ああ、それなら、あんな顔をして、にらむのでなかった。」と、おばあさんは、思いました。

けれども、お彼岸のおまいりにいった帰りなので、やんまを助けてやったと思うと、いいことをしたとも考えたのでした。

「どれ、どれ、私が、木の枝にとまらせてやりましょう。」と、いって、おばあさんは、やんまを庭の縁側に近い、南天の木にとまらせておきました。

「もう、逃げていったろう。」と、晩方、おばあさんが、縁側へ出てみると、そこには、やんまの羽だけが散らばっていました。小ねこのたまが食べたのです。おばあさんは、これを見ると、驚いて、たいそう立腹しました。

「今夜は、家へ入れない。」と、いって、たまをしかって、外へ出してしまいました。小ねこは、ニャアニャアと鳴いていたが、そのうち、どこへかいってしまいました。

「かわいそうに、どこへいったでしょう。」と、家の人たちが、いっていました。

「いえ、こらしめてやらなければ。」と、おばあさんは、いつまでも立腹していました。

そのとき、そこへお隣の光子さんが、たまを抱いて入ってきました。

「おばあさん、たまが、うちのお台所へきて鳴いていましたから、つれてきたのよ。」と、いいました。

おばあさんは、たまが、やんまを食べたからしかったと、お話をしました。すると、光子さんは、おばあさんの顔を見て、

「だって、たまは、やんまを食べて、わるいということを知らないのですもの。」と、いいました。

この子供の、やさしい言葉は、おばあさんに、さっき、自分もそれと知らないばかりに、どこかの、かわいらしい男の子をにらんで、わるいことをしたことを思い出させました。

「この年になっても、おばあさんは、ばかだね。光子ちゃん、こちらへおいで。」と、いって、おばあさんは、光子さんの頭をなでてやりながら、自分にも、こんなような女の子か、先刻の、男の子のような、かわいらしい孫があったら、どんなに、楽しかろうと思いました。

たまは、いつのまにかおばあさんのひざの上にのって、まるくなっていました。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集　11」講談社
　　1977（昭和52）年9月10日第1刷発行
　　1983（昭和58）年1月19日第5刷発行
底本の親本：「ドラネコと烏」岡村商店
　　1936（昭和11）年12月
初出：「教育・国語教育　5巻10号」
　　1935（昭和10）年10月
入力：特定非営利活動法人はるかぜ
校正：酒井裕二
2016年6月10日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

やんま

小川未明

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/